

第623回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

いのち。伝えたい

私に伝えられること～難病HAMと向き合う～

平成29年9月13日（水）

(株) I B C 岩手放送

第623回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年9月13日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 畠山 俊彰 栗田 均

村井 康典 小松 務

岩田 圭司 宮 順子

龍澤 尚孝

欠席委員の氏名 澤口 たまみ

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

井坂 元 報道部記者・ディレクター

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 報道特別番組

「いのち。伝えたい『私に伝えられること

～難病HAMと向き合う～』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 難病HAM（HTLV-1 関連脊髄症）についてはこの番組で初めて知った。稀少難病で、患者数が少なく認知度が低いということで取り上げたことは、非常に意義があったと思う。
- 2人の患者を紹介したことで、病気の因子の保有者の多さと、一方では発症の稀少性とか病状、苦しみが具体的に伝わってきたのではないか。
- 岩手に推定1万人もウイルスの感染者がいるだろうということで、他人ごとではなく非常に身近な大変な問題だと思いながら見た。
- 稀少難病を受け止めて病気と闘う姿、前向きに生きる2人の姿はよく表れていた。特に副作用が現れているにもかかわらず、自分を犠牲にしてまで治験に協力するところ、治療方法の早期確立、もしくは自分の完治への執念という部分については非常に心を打たれた。
- もしかしたら自分もキャリアであり、まだ発症していないだけで、発症する可能性があるのではないかという大きな不安を持った。比較的高い確率で母子感染するというので、子どもを人工ミルクで育てたとあったが、こういうことが番組を通じて視聴者に不安を抱かせるようなことにならないかちょっと危惧している。
- これから結婚して子どもをつくる若い人たちに、ぜひこういう病気があることを知ってもらいたい。また、どうしたら対策ができるかということ若い人たちにわかってもらいたいと感じた。